ひと あい えどがわ

No. 4

江戸川総合人生大学発 ―― 人と地域をつなぐ情報紙

EDOGAWA SINCE 2004 SOUGOU-JINSEI-DAIGAKU

発　行／江戸川総合人生大学
編　集／「ひと あい えどがわ」編集委員会
発行日／2007.11.20

気配りの勧めと共生の心

江戸川総合人生大学学長
北野　大

元NHKアナウンサーの鈴木健二さんが、1982年に出版した「気くばりのすすめ」が332万部売れ、ベストセラーになったことを記憶されている方も多いと思います。

今回あらためてこのような文章を書く気になったのも、最近の世の中は、お互いにちょっとした気配りが足りないのではないかと思えることを多く見かけるからです。以下気のつくまま、いくつかの例を述べましょう。

1）横断歩道橋とガードレール

これらは歩行者を車から守るものであり、予算上の問題はありますが、本来なら車が道路の上を越すか、または下に潜るべきです。乳母車やお年寄りは歩道橋を渡れません。ガードレールも現在の車道側の滑らかな部分を歩道側に向けるべきです。

2）郵便ポストの位置

これも郵便を出す人の便利さよりも、集配する人の便利さからその設置の場所が決められているように思えます。

3）バスの待機

終点でバスを待っているとき、目と鼻の先の駐車場にバスがいながら時間が来るまで、停留所には停めてくれません。場所によっては雨や雪の降る中、客はただじっと待つしかありません。この間、運転手さんは暖かいバスの中で休養です。時間になるまで停留所に入ってはいけないという規則があるのでしょうか。

4）会議の日程

会議の日程を決めるのに委員の都合を聞かない事務局があります。各委員に問い合わせた上で、できるだけ多くの委員が参加出来る日に会議日程は決めるべきです。また日程調整にしても、おおよその会議場所や時間帯の情報がないと返事が出来かねます。

上記のことは、いずれもすべて自分たち自身の都合や考え方からの結果でしょう。ちょっと立場を変えて相手の身になったら、状況は大きく変わります。ここで大切な考え方は、誰々のためにということで無く、誰々さんと一緒にという考え方です。これが共生の心です。是非、ご一緒に江戸川総合人生大学でこの共生の心を学びませんか。

総合人生大学卒業式・入学式が行なわれました

9月11日、平成17年に入学した二期生73名の卒業式が行われました。式典には、学長、学科長、来賓、在校生など150名が列席し、北野学長から卒業生一人ひとりに卒業証書が手渡されました。

また、10月10日には、四期生97名の入学式が行われ、北野学長は、式辞で「皆さんのいろんな経験、考えを活かし切磋琢磨してください」と話されました。

卒業式

入学式

「えどがわ入門」の授業で多田区長が講義

10月12日、4期生97名の「えどがわ入門」の授業が行われました。この授業は、主に区政担当者を講師として、江戸川区の産業、子育て、福祉をはじめ区政の全般の現状と課題を様々な角度から理解しようというものです。

第一回目は多田区長の講義で、水害とまちづくりの歴史から始まり、平均年齢が23区一若いという本区の特長や江戸川区の魅力、区の財政構造と支出内訳、健全財政を維持するための努力、地域が皆で懸命にまちづくりをした結果が本区の誇るべき地域力となったことなど、区政全般にわたる分析と展望が語られました。学生は「とてもわかりやすかった。こんな授業が受けられるのも人生大学ならでは」と感想を語っていました。

人生大学　地域のために自分を活かしてみたい。江戸川総合人生大学はそんな人のために江戸川区が開設した区民のための大学です。現在、1年生と2年生合わせて約180人の学生が、熱心にそれぞれの目的や課題に向けて授業に取り組んでいます。（＊学校教育法等で定める正規の大学ではありません。）

広・げ・よ・う・ボ・ラ・ン・テ・ィ・ア・の・輪

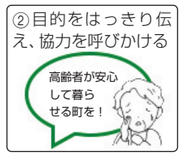
進化し続ける〈イエローベレー隊〉

今回は江戸川まちづくり学科の“えどがわの種探し”という授業で毎年お世話になっているイエローベレー隊をご紹介します。
イエローベレー隊とは“商店街の活性化のためには、まず安全で安心な商店街を作ることから…”という考えのもと結成された京成小岩商栄会メンバーと地域住民15名のボランティア団体です。

黄色のベレー帽とTシャツ姿で夜間パトロールを始めたのが4年前。そして現在はパトロールと平行して、駅前や商店街に立ち「おはようございます！」「自転車はここには止めてはいけませんよ！」と違法駐輪をゼロにするための声かけを行っています。
隊長の松本勝義さんは「始める前は『そんなことをしたら商店街のお客さんが減るのでは…』という不安の声もありました。しかし始めてみると『歩きやすくなり、買い物がしやすくなった』とお客さんに大変好評なうえに、違法駐輪の数が最も多かったスーパーの売上が伸びるなど、店側にとってもうれしい結果につながりました」と話してくれました。
最後に「違反者に注意し、協力してもらうのは大変だと思うのですが…何かコツがあるのですか？」と質問してみました。すると松本さんの口から“ボランティアを成功させるポイント”とも思える下記のような答えが返ってきました。

京成小岩駅前の道路
違法駐輪はほとんど見られない

区内初！シルバー駐輪コーナー
駅に一番近い場所に、75歳以上・身体の不自由な人専用の登録制駐輪場を作りました。
数年前には予想もつかなかった光景に、喜ぶお年寄りの顔が目に浮かぶようです。



（江戸川3期生　竹重真紀子）

〈江戸川にほんごクラブ〉訪問記

13年前「外国人への日本語指導ボランティアの会」として発足し、毎週金曜日午後7時～9時までグリーンパレスで、代表の野田英一さん他約30名の会員で運営。総合人生大学の卒業生も多い。学習者は約70名が登録しており、中国人を始めマレーシア、インドネシア、タイ、韓国など10数カ国に及ぶ。
学習者は住民登録時に区役所での案内をみて参加するケースが多いとのことです。
教材は『みんなの日本語』というテキストが多いが学習者のレベルに合わせ自由です。学習はマンツーマンでの指導を行なっています。（ちなみに参加料は毎回100円）。

みんなで楽しく学ぶ

訪問したときは学習者による日本語でのスピーチ会の日でした。その一部を紹介します。
●サイさん（ベトナム）
ベトナムと日本の違いについて”ベトナムは海の幸が豊かです”と日本人でもなかなか使わない表現でスピーチ。
●キムさん（韓国）
盲目の歌手スティービー・ワンダーについて自分の意見を発表。日本の諺も勉強中。
●ユファンさん（インドネシア）
来日5年。ご主人の事務所で電話の対応などを手伝う。一児の母親。昨年漢字検定3級合格。2級目指して勉強中。
●トンさん（インドネシア）
ミッキーマウスの描き方を日本語で説明し、全員がミッキーを描きました。

ティータイムには支援者からの差し入れで、会員と学習者が和やかに歓談。
思いがけず、日本で暮らす外国人に直に接し、お話を伺うという貴重な機会を得ることができました。小さな草の根交流の輪が広がって、理解が深まり、共に住みやすい江戸川区になったら良いとおもいました。
親切に対応してくださった代表をはじめ皆様に感謝申しあげます。
（国際3期生　高島卓・矢作弘子）

〈江戸川遊ぼう会〉素敵な遊び空間―発見きち

「おかえりなさい！」斉藤洋子さんのその言葉から”発見きち”での遊びは始る。
場所は西葛西8丁目の「新田の森公園」。毎週金曜日と毎月第二土曜日の午後2時過ぎから子どもたちが集まってくる。
斉藤さんは「江戸川遊ぼう会」の代表。笑顔のとっても素敵な女性だ。
会ができたのは1996年。
昨年、総合人生大学の授業でお世話になった私達が取材に行ったのは511回目の活動日だった。8月25日が500回の記念日だったそうだ。
「江戸川遊ぼう会」とは、子育て中の母親仲間4人が世田谷にあるプレーパークに遊びに行き「こんな遊び場が自分たちの住む地域にも欲しい！」という想いで立ち上げた会だ。
そしてこの遊び場を「発見きち」=「一人ひとり、それぞれの発見がある秘密きち」と名づけた。

ここでは子どもたちが、自由な発想でいろいろなことをする。物を作る。木登りをする。七輪で火を燃やす。種を植える。昆虫採集をする。ごみ拾い、あな掘り。スタッフの人と話す…。
年齢も幼児から高校生くらいと幅広い。公園の近くを通っている子どもにもやさしく声をかける…。そんな子どもたちにとっての素敵な空間が「発見きち」なのだと思う。
斉藤さんの優しい「またね！」の声に見送られて子どもたちは、またここに来ていろいろ発見するのだと思った。
（子ども3期生　渡辺佳保里）

〈小岩ほほえみの会〉元気の源を地域の皆さんと

小岩ほほえみの会は、高齢者や傷害者、子育て中の人、話し相手の欲しい人、外国人など日ごろ地域の中で交流する機会が少ない人を対象に、地域の住民との様々なふれあい活動を通して親睦を図る地域ミニデイの会です。
平成17年に小岩・篠崎の住民9名と介護･福祉コースの有志14名が一緒に設立しました。ようやく1年半がたちました。
このミニデイは毎月第一木曜日正午から小岩区民館で開催し、会費は500円。
ひな祭りやお花見など季節の行事に合わせて、四季折々の食材を使い会員がつくるバランスの取れた食事を参加者全員でいただき、和気あいあいと楽しいひと時を過ごした後は、折り紙や懐かしの歌、手品、プレゼント交換などレクリエーションを行います。

ミニデイは、日頃、人と交流する機会の少ない方々にとって思いっきり気持ちの発散できる場です。
皆さんをお迎えできることを喜びながら､「また次回も元気でおいでくださいね」と念じています。これからも住みなれた地域の中で、地域の住民誰もが楽しく安心できてホッとする場となるように、また、支援する側の気持ちも支えあえる場としたいと思っています。
（介護・福祉1期生　喜友名典子）

江戸川ミニデイホスピス研究会は、がんや慢性疾患・難病の患者さんやその家族に対して地域で寄り添える場づくりを目指して活動しているボランティアグループです。
患者や家族の皆様にゆったりとした時間を楽しんでいただけるお茶会『午後のティータイム』を企画しました。
日時：平成20年1月31日(木)13～16時
会場：タワーホール船堀3F産業振興センター
会費：100円(お茶、お菓子代)
申込・問合わせ先：03-3658-0155（ハカタ）
主催：江戸川ミニデイホスピス研究会

「もったいない！」でめざす、エコタウン江戸川
えどがわエコセンター

●「もったいない運動えどがわ」を広げよう！
えどがわエコセンターは区と協働し、地球温暖化防止のため「省エネ・省資源」と「ごみ減量」に身近なところから取り組む「もったいない運動えどがわ」を展開しています。
あなたが気をつけていることや、これからやってみたい取り組みを登録しましょう！

●巷（ちまた）のもったいない情報リポーター求む！
ご近所さんや学校、いきつけのお店などで見つけた「もったいない」の取り組みを教えてください！おもしろい取り組みを取材し、エコセンターに持ち込むと・・・？

詳しくはえどがわエコセンターまでお問合せください。電話：5659-1651

●書も捨てず、そして街に出よう！　活躍する総合人生大学学生のみなさん
都市に残る自然エリアや商店街、学校などで行われるエコイベントで大活躍！今度はあなたも参加してみませんか

10月20日（土）
「新川生きもの青空展覧会」

10月28日（日）
「江戸川共栄商店街
～エコ商店をさがそう！～」

ボランティアセンターをご活用ください！

ボランティアセンターは、ボランティア活動を応援しています。

【ホームページ等を通じた情報提供】
○活動団体の紹介（団体登録必要）
○募集情報（活動先をお探しの際にご活用ください）
○助成金情報（民間の助成金等の情報を掲載しています）
【活動場所の提供・印刷機の貸し出し（団体登録必要）】
○ボランティア活動室（ボランティアセンター内・清新町）、備え付けの印刷機がご利用になれます。

【ボランティア保険・行事保険の取り扱い】
○安心して活動するための保険の紹介・取り扱いをしています。（登録者には一部助成あり）

ボランティアに関することなら、何でもお問合せください。
【 問い合わせ先 】ボランティアセンター　電話：5662-7671

※グリーンパレス耐震工事のため、平成19年12月15日～平成20年7月末まで仮事務所（グリーンパレス新館玄関向かい）に一時移転します（業務内容等は変更ありません）。

広がる活動の輪

万華鏡をつくろう！

9月24日、 幼児から大人まで約60名がわいわいがやがやと、葛西健康サポートセンターに集まり、立体万華鏡つくりに挑戦。エコセンターの子ども体験教室の一環として、子どもコース二期生の活動グループ『どんぐり』が企画運営し、九州大学の園田先生に作りかたを教わりました。
万華鏡といえば、筒を回して鏡に映る模様の美しさを楽しむイメージでしたが、「立体万華鏡」の特徴は、形！光と反射の特性を最大限に取り入れるため、サイコロ形。覗き穴から広がる鏡の世界は3D。
自分で図柄を描いたアクリルミラーの塗料を除光液で溶かし、つまようじを利用して塗料が透明になるまで削り、色セロハンなどを貼って、組み立てると、世界にひとつだけの万華鏡が！
自分の描いた図柄が、万華鏡の宇宙の中に無限に広がって、なんとも幻想的。出来上がった万華鏡をのぞきあって、感動の歓声と笑顔。大人も子どもも、芸術的な完成度に差がないところも立体万華鏡の醍醐味で、完成の喜びと不思議な世界を共感しあいました。
「ちょっと難しかったけど、楽しくて、うれしくて、おもしろかった。」（子ども）
「覗いた子どもの顔が、万華鏡のようにキラキラしていて、そばで見ていて幸せでした。」（保護者）

一人ひとりを、ほめてくださる園田先生から、子どもを育む関わり方をたくさん学べた貴重なひとときでした。
（子ども2期生　上原真樹子）
お問い合わせは『どんぐり』山田まで
メール：shizuko-y@chyberhome.ne.jp

パソコンを使いこなそう

『パソコンサポートの会』は、学生や卒業生、関係者の皆さんがパソコンを利用してレポート作成や発表、インターネットへの情報発信・受信・共有する力を身に付けるためのサポートをする総合人生大学生、卒業生によるボランティア団体です。
初心者の方を対象として、おおよそ月に１回のペースで講習会を開催しています。会では親切丁寧をモットーに楽しく身に付く講習会となるよう工夫を重ねています。
ただ今、４期生のサポーター募集中です。

お問い合わせは『パソコンサポートの会』
品田まで
メール：mshina9711@yahoo.co.jp

先生を紹介します

江戸川まちづくり学科の佐谷和江学科長は、まちづくりの専門家として全国各地のプロジェクトで活躍中です。

現在、新宿区において「落合三世代交流を育てる会」の皆さんと高齢者施設を三世代交流施設に改装して地元主体で運営していくことを検討中。
福岡県飯塚市でも商店街やJR、バス会社、NPOの人たちと中心市街地の活性化に向け取組んでいます。
また、1997年に出版した　「まちづくりキーワード事典」（学芸出版社）の全面改定に向けて執筆にとりかかっています。126のキーワードで構成される本書の「市民まちづくり」の章を担当し、「この10年間に市民まちづくりが随分変わったと実感しています」とのこと。
改訂版は来年初旬に発行予定です。

「ひと あい えどがわ」点字版ができました

点訳グループ「だんでらいおん」のご協力で大学情報紙の点字版が完成しました。
貸出ご希望の方は、大学事務局までお申し出ください。

「だんでらいおん」は、江戸川区が主催する点訳講座の卒業生でつくっている点訳ボランティアグループです。
区内を中心に、広報誌・小説などの点訳を行っています。
問い合わせ先　須藤（代表）
電話090－3241－4857
メール：neighborhood-bully@jeans.ocn.ne.jp

イベント情報　区民の皆様のご参加をお待ちします

催し	日時	会場	費用	主催・お問い合わせ・内容
第3回介護予防大作戦 in東京	11月26日（月） 10時～16時	西国分寺駅前 いずみホール	無料	モニュメント6　島田　TEL 3804-5216 江戸川グリーングリーン　堀川　TEL　3679-4357
モンゴルの子供達を救う！チャリティーコンサート	11月30日（金） 19時（開場18：30）	タワーホール船堀 小ホール	前売2500円 当日3000円	サタデーネット 高橋　TEL 3670-8955
木の実や草花で染めものをしよう（草木染）	12月1日（土） 13時～16時	清新町 コミュニティ会館	200円 （材料費）	どんぐり　山田　TEL 5658-5295 申込締めきり/11月27日（詳しくはご連絡を）
小岩の茶店	’08年1月12・22日 （2月は2の付く日）	南小岩フラワーロード ポケットハウス	無料	すきま南風 高木　TEL 5668-5396　（詳しくはご連絡を）
江戸川総合人生大学学生による第6回朗読会	’08年1月26日（土） 10時30分～11時40分	タワーホール船堀	無料	堀川 TEL 3679-4357
学習支援 ボランティア活動講座	’08年2月3日（日） ’08年2月17日（日）	タワーホール船堀	無料	スクールサポーターゆうほ 携帯 080-3442-5747

サークル情報　他のクラスとの交流のために

（詳しくは各担当者にお問合せください。）

催し	日時	会場	費用	主催・お問い合わせ
パソコンスキルアップ講座「はじめての一歩」コース	11月26日（月） 9：55～／12：55～	タワーホール船堀 3F	500円	パソコンサポートの会 各クラスパソコンサポート委員まで
すなもみダーツで遊ぼう	11月30日（金） 13時～	鹿本幼稚園	無料	どんぐり 山田　TEL　5658-5295

素敵な情報を待っています

「ひと あい えどがわ」は人生大学発の、区民と学生を結ぶ情報紙です。ユニークな活動をしているグループ、是非取り上げて欲しいグループなどありましたら、下記までご連絡ください。
お問合せ／江戸川総合人生大学
電話：5676-2431

「ひと あい えどがわ」編集委員　お問合せ／江戸川総合人生大学　電話：5676-2431
島田久市（江戸川2）　戸塚　弘・吉田英雄（国際2）　上原真樹子（子ども2）　井上周介（介護2）　畫間　樹・竹重真紀子（江戸川3）
高島　卓・矢作弘子・山本忠明（国際3）　高森敬子・渡邊佳保里（子ども3）　大島玉枝・杉田房子・松丸洋子（介護3）

R100 再生紙を使用しています。
PRINTED WITH SOY INK